



雄武町

No. 176 令和3年8月号

議会だより



Contents

- ▶ 令和3年6月定例会（行政報告）— P2
- ▶ 一般質問（4名）— P4-7
- ▶ 審議結果（4月臨時会・6月定例会）— P8-12
- ▶ 委員会視察報告 — P13
- ▶ 議会日誌・あとがき — P14

昆布漁も最盛期 高校総体前もお手伝い

令和3年

6月

定例会

6月17~18日(2日間)の内容

- ・行政報告(町長)
- ・行政事務報告(副町長)
- ・教育行政報告(教育振興課長)
- ・一般質問(4件)
- ・報告5件
- ・各会計補正予算6件
- ・条例改正4件
- ・工事請負契約締結2件
- ・財産の取得1件
- ・委員の任命1件

行政報告(石井町長)

令和2年度決算見込額

一般会計歳入歳出差引金額
2億9771万3千円
(実質収支額)
2億1113万9千円

懸案事項における要望活動

◎西紋別地区総合開発期成会
5月31日(要望書発送)
主要道道美深雄武線整備事業の促進について
11件

◎高規格幹線道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会
5月31日(要望書発送)
旭川・紋別自動車道の事業促進
ほか2件

新型コロナウイルス感染症対策について

◎接種状況と今後の見通し
・65歳以上の高齢者
5月25日~7月中
・基礎疾患優先接種
高齢者接種後速やかに実施
・それ以外の者(一般)
基礎疾患優先接種後速やかに実施

かに実施
※11月中旬に接種希望者全員の完了を目指す。

一般廃棄物の西紋別地区広域ごみセンターへの搬出について

雄武町の一般廃棄物の処理は、平成14年のダイオキシン問題で焼却処理を中止して以来、資源ごみ以外の廃棄物は全て最終処分場での埋立処理を行っている。このまま継続すれば、近い将来、埋立てスペースが満杯となる見込み。

【検討内容】

・町単独で施設を整備し焼却処理を行う。
・西紋別地区広域ごみ処理センターでの共同処理に参加する。

【検討結果】

一般廃棄物の処理
最終処分場で埋立処理

一部を広域ごみ処理センターに搬出する。

【期間】

令和4年4月から当面の間

【搬出量】

毎月10トン(年間120トン)

質疑応答

特定健診の受診率について

- Q遠藤 特定健診受診率アップへの取り組みは。
A保健福祉課長 国保連を通じて民間へ業務委託、周知の仕方に工夫を行う。若年層にも関心が持てるよう変えていきたい。

不燃ごみについて

- Q溝田 不燃ごみの処分量が増加している。黄色いごみ袋の分別作業を徹底してはどうか。
A住民生活課長 コロナ禍で自宅待機が多く、不用品を整理する人が増えたと推測する。来年度には洗面器などの一般プラも資源として扱えるので周知を行う。

新型コロナウイルス感染症に関する検査費助成事業について

- Q遠藤 議会から要望していた検査費の助成に対応していただき感謝します。周知方法はどのようなになるのか。
A新型コロナウイルス感染症対策室長 新聞、広報に加えて全町民に周知するため回覧を行う。ホームページにおいても周知を行う。

外国人人口の減少について

- Q嶋村 外国人人口が54人減っているが、新型コロナによる技能実習生への出入国制限が理由か。
A産業振興課長 2~3月、中国人とベトナム人で57人が入国できなかった。一方、中国人は全員帰国できたが、ベトナム人が1人帰国できなかった。



旧ごみ焼却処理施設（中雄武）の解体方式について

Q長野 ゴミ処理は令和4年より紋別広域のほうに月10トン、年120トンを搬出する報告があった。ごみ焼却処理施設の解体にはダイオキシンが飛散しない工法を取る必要があり、小さな施設であっても10億ほどかかることが推測される。町としても今後大きな支出が求められることから、解体計画についてどのようにお考えか。

A住民生活課長 現在の中雄武の旧焼却施設について、建物の事務所部分は今後も長くリサイクル拠点の事務所として活用していく。一番気になる部分は煙突の部分、解体費の詳細はまだ調べていない。数億くらいかかる認識はある。煙突の耐用年数は70年で、あと30年の間には解体が必要。解体計画をもって対応していく。

Q長野 今はダイオキシンがある煙突をそのままにして風化させていくという皮肉な結果になっている。廃炉もいずれ起きてくる問題。補助金がなければ町の一般財源ということになり、将来町は他の事業ができなくなる。優位な状況を調べて進んで欲しい。今後、一番心配されるのが災害によるごみの問題。過去に50m級の台風があった際、風倒木処理で大変なごみが出て最終処分場に搬入したという事例があ

る。最終処分場もできるだけ延命を図り、災害時にも対応できるようにとの考えは理解できる。町長の思いは。

A町長 単独だと色々な補助金が受けられなくなる。結論は広域ごみ処理センターでの処理に加入したいという考え。今後はごみの減量化・リサイクル化も同時に進めていくことが必要。

Q長野 地域住民がダイオキシンを理由に再稼働を反対しておきながら、煙突のダイオキシンはそのままにして風化させていいのかという思いがある。行政も腰を据えて話し合っ欲しい。私は旧焼却処理施設を再稼働できなかったことが残念だと思う。廃炉は大変費用のかかるものなので、今後検討して欲しい。

※雄武町のごみ問題については議会だより（9月発行）で特集する予定です。



防犯カメラの設置及び運用等に関する要綱について

Q柳原 防犯カメラに関する要綱制定の内容は。

A総務課長 犯罪防止等の為必要に応じて設置することと録画管理について謳っている。

Q柳原 児童の通学経路に設置されていない。防犯カメラを役場に設置した理由は。

A住民生活課長 庁舎周辺の安全のため設置した。児童センターへ通う経路であり子どもたちの安全確保も担える。

ふるさと応援寄附金について

Q嶋村 ふるさと寄附金が前年度に比べ7倍になった。傾向と将来の見通しは。

A財務企画課長 昨年8月に「さとふる」を開設したが、限定返礼品の貝柱1.8kgだけでも315万4千円の寄附があった。全国20位前後にランクインしており、開発企画返礼品も増えた。8月にはANAも開設予定。昨年度の寄附額は1億8700万円だが、3億円が目標。

人口減少対策について

Q柳原 国政調査の結果を踏まえ人口減少対策が必要ではないか。猿払村は考えているが本町の考えは。

A町長 人口を増やすことは大変である。5年ごとに300人減っている状況であるが、滞在人口アップへの取組みが今後の課題である。

避難行動名簿の活用方法について

Q遠藤 避難行動名簿の活用方法は。各自治会等から聞き取りを行っているのか。

A住民生活課長 自治会長に聞き取りを行う予定だが、集まる機会がない。活用については支援者の把握や訓練に使う予定であり、いずれは自主防災組織へと考えている。

Q遠藤 自主防災組織については、自治会の共通認識となっているのか。

A住民生活課長 自治会長が集まる会議でPRを行う予定。





■ 柳原 浩之 議員

ワクチン接種の予約方法、今回の判断は正しいか

町長 今回の判断については正しかったと思う

ワクチン接種方法について

問 人数を把握した上で公平性を重視し、電話による事前予約制をお願いした今回の接種方法の検討経緯は。

対策室長(※) 様々議論した中で公平性が保て分かりやすく対応できることから、今回の判断にした。

問 今回の判断は正しかったか。

町長 電話がつかぬが苦情もあったが、今回の判断は正しかったと思う。

問 町民の方々にご苦労をかけた謝罪の気持ちは。

町長 その点はある。今後の課題としていきたい。

町の将来に向けた地域振興策について

問 地域商標登録に応募する考えは。
町長 名乗りを上げてい

ないのは事実であり、各団体と協議していきたい。

問 日の出岬ホテルの名物に卵かけごはん「サンライズ」の導入を検討しては。

町長 色々なアイデアを出しながら今後考えていかなければならない。

問 地域防災計画等に多額の経費をかけている。地域防災マネージャーを導入するべきでは。

総務課長 防災体制の強化を考えていく中で防災士を含め必要性や役割を調査検討し採用等を議論していく。

長の状況判断と検討経緯について

問 成人式の延期を決断した検討経緯は。

教育振興課長 警戒ステージに応じた判断基準を作成し、式の延期は行わない予定だったが、新成人の意向を尊重し開催困難により2

度延期することになった。

問 町で初の新型コロナウイルスイルス罹患発生後に対策会議を実施しているが、それまでの1年間で7回しか会議をしなかった理由は。

対策室長 要所要所で会議を開き、各部署で必要に応じて対策を行ってきた。

問 過去の対策会議で「万が一感染者が発生した場合の対応を共有」とあるが。

対策室長 役場内の予防対応マニュアル及び町内で感染が出た場合の行動マニュアルを作成した。

問 今回の対応はすべて保健所の指示で動いている。首長として適切な判断を決定できなかったら、町長のいる意味がないのでは。

町長 保健所の指導のもとと町の方で決定した。ケースバイケースがあり全部同じ対応は難しい。やりすぎも不安を募らせるとの保健所の指導から、内部協議を

実施し最終判断した。

3月議会の答弁に対する疑義について

問 勤怠管理システム導入以前は正確な時間外勤務時間を把握できていなかったとの答弁があったが、正確に把握しないで管理職は指揮監督できるのか。

総務課長 正確に分らない状況であったが、休日及び午後6時以降は名簿記入により確認していた。

問 益子町交流事業補助金前年事業費13万円のところへ10万円の補助は正しい姿か。また、交流事業がコロナで中止の場合は。

町長 以前は観光協会から5万円補助であったが、事業の内容を濃くするため町から10万円補助とした。
財務企画課長 交流事業に特化した予算であり、事業そのものが中止となった場合、補助金申請はない。

※対策室長…新型コロナウイルス感染症対策室長の略





■ 嶋村 義文 議員

不足している単身者住宅、町の考えは

□ 町長

公営住宅の単身者用町営住宅転用を含め検討

雄武町の新型コロナウイルス感染症対策

問 5月初旬にコロナ感染者が発生した際の、町の対策は中途半端との町民の批判があります。町の対応は正しいと思っっているようですが、町民意識とは大きな乖離があると思います。そういう認識はありますか。

町長 情報開示については慎重に議論してきたものの、町と町民で意識が乖離していることは認識しております。

行政執行方針について

問 3月議会の行政執行方針で第6期雄武町総合計画の後期基本計画の策定に向け、町づくりアンケートを実施すると述べています。従来の設問方式では町民の具体的な声が出づらいため、スポーツセンターの建設、小中一貫校の建設、老人福祉施設の建設、バイオガスガスプラントの建設等、具体的な設問での問い

かけを提案する。問いかけが具体的にないと、町民の意見は出てこないと思う。

町長 具体的な方向でアンケートを取った方が町民の方も意見を述べやすいというのには確かですので、アンケート調査の中身を検討したいと考えます。

問 住環境の整備について伺います。民間賃貸住宅建設の補助制度で今年度2棟8戸が建設されるといふことは喜ばしいことです。今後、単身者住宅の建設が進まない場合、町として単身者住宅建設の考えは。

町長 町として考えていかなければならないと思います。また、公営住宅の単身者用町営住宅への転用も検討したい。

※その他、産業政策補助金について経営支援は好ましくなく、構造改善等前向き投資に限定すべき、観光振興策での道の駅の在り方で町長の考えを質しました。

独居老人支援について

問 町で把握している65歳以上の独居老人世帯数は。

住民生活課長 男性120世帯、女性331世帯、計451世帯です。このうち雄愛園分を差し引くと393世帯です。

問 地域包括支援センターが高齢者に支援事業を行っておりますが、絶対的にマンパワーが不足していま

す。現場の職員の方、保健師さん等も当然感じていると思います。「地域包括ケアシステムにおける地域おこし協力隊の可能性」という考えがあり、全国各地で地域おこし協力隊員が高齢者支援事業を担っております。北海道でも喜茂別町をはじめ活動している町村、現在募集している町村が多数ありますが。

町長 地域おこし協力隊については活用できるものであれば活用して、将来は町の職員になっていただくなど幅広く検討したい。

町職員の再任用制度について

問 総務課資料によると、過去3年間は採用数より退職者の数が多い。今後10年間の60歳定年到達職員数は。

総務課長 法改正により今後2年ごとに定年延長があり、それを加味すると20名です。

問 現在職員数144名のうち20名とかなりのウエイトになり、今後の町の行政事務執行体制を維持していく上で新規採用が難しくなる現状では再任用職員の戦力は欠かせません。労働意欲の持てる給与水準が必要では。

総務課長 再任用制度の給与・役職についても検討していかなければと考えています。

町長 人口は減少傾向でも仕事は非常に多くなってきた。再任用も含め、これからの人事構成についてしっかり考えていきたい。





佐藤 寧 議員

広報などが未配布世帯への行政の考えは

□ 総務課長

情報を町民に送り届けることは行政の責務であり、周知が不十分であったと認識

広報などの紙媒体の配布について

問 広報紙などの紙媒体の配布手段と町内世帯への配布率などを確認したい。

総務課長

自治会経由で広報紙を発送している世帯は1785世帯。自治会に未加入の世帯は希望者に個別に送付している。日本人に限定した場合、広報紙が届いていないのは100世帯強かと思われる。

問 若い世帯を中心に町内会に入らないケースも増えているが、加入するしないは世帯の自由。だからといって広報などが読めないというのはいかがなものか。

総務課長

広報紙等による町の情報は、最大かつ最も効果的な情報提供媒体だと認識している。その情報を町民に送り届けることは行政の責務であり、自治会の未加入者に個別に送付できることは、周知が不十分であったと認識している。

今後は未加入の場合は個別に送付することも可能であることを周知していく。

小中学校間の連携について

問 令和2年に小学校、令和3年に中学校の教科書改訂が行われた。本年は中学英語を中心に大きな改訂が行われている。英語は今まで最もハードな教科書改訂となっている。大切なのは小学校の英語課程が大前提で中学英語が組み立てられていること。小中で教える先生の意見や要望を教育委員会として聞き取っているかどうかを確認したい。

教育振興課長

定例校長

会議では情報意見交換を行っており、新しい教科書に関して、特に学校から意見や要望などはない。

問 中学校に進学してから勉強を理解していくには小学校の下地づくりが必須。今後は小中学校の教科書の連携が大切になるが、その

計画は立てられているのか。

教育振興課長

本町では

校長会、教頭会を定例に開催し、情報交換を行っている。また町内の学校教職員と教育委員会事務局で構成している雄武町学校教育振興推進協議会で、教職員間の研修、授業参観や乗り入れ授業などを行っており、教科間の連携については教科ごとに編成する教科等連携部会を設置して連携態勢を構築している。

問 公立の小学校でも中には、英語のみを教える先生を採用しているところもあるが、雄武町では専科教員を雇う考えはあるか。

教育振興課長

学校から

の要望はなく、今のところ専科教員を配置する計画はない。外国語の効果的な学習支援については今後も学校と協議して進めていきたい。

問 英語についてはほとんどないことが起こる可能性が高い。私は先生方から意

見や困りごとが出てこないのが信用できない。教育委員会の方でもしっかり確認してほしい。

雄図びあのコミュニティカフェについて

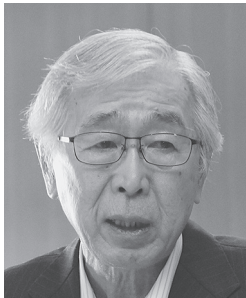
問 今年3月の予算審査特別委員会において、図書館内のコミュニティカフェ設備の質問に対する回答が、煮え切らないものだったので再度確認したい。単発のイベントを開催することさえ難しいのか。私も紋別保健所に確認したが臨時営業許可申請をすれば、許可がかなり柔軟になるので、プランを立て申請してくれば協力は最大限にできるといふものだった。改めて今後の利用計画についてお尋ねしたい。

教育振興課長

こちら

も保健所に問い合わせを行い、同様の回答を得ている。現在は具体的な利用計画はないが、今後図書館事業企画する際はイベント的な利用も考えていきたい。





■ 福原 峯雄 議員

地域生活支援拠点、雄武町の整備状況は

□ 保健福祉課長

単独では難しい、広域での対応を視野に入れている

コロナハラスメントに対する対策について

問 コロナハラスメントというのは、新型コロナウイルスに対する恐怖心や誤解、偏見によって、誰かを排除したり差別したりする行為の事で、このことは道議会でも取り上げられ「感染者や家族に対する差別や偏見、心無い行為というのは許されない。お互いに思いやる気持ちで育まれるように、啓発に努める。」との答弁は道の広報にも盛り込まれました。全国的には「ストツプコロナハラスメント宣言」ということで、新型コロナウイルスに対する理解を深める活動を強化し、感染者やその家族、医療従事者やその関係者等に対する、むしろ、感謝を促す方針を打ち出しているところもあります。

雄武町の新型コロナウイルスに関する文章を見ても、そのことに対する配慮が感じられる内容となっています。しかしコロナハラスメントが広がっていきくと、感染症にかかってしまったことを言えないために、重症化を招いてしまつという側面があるわけで、感染が広まってしまう他町村を見ても、そういうことが訴えられています。新型コロナウイルスの終息が見えない中では、このコロナハラスメントに対する対策を確立しておくことが大事でありませんか。

対策室長(※)

町としては、昨年12月14日に新型コロナウイルスに対する偏見や差別をなくすための町長からのメッセージを発信しています。コロナ禍において私たちが戦う相手はウイルスであり、差別などの人権侵害だけでなく、感染者が差別を恐れ、濃厚接触の調査に協力せずに、感染拡大の連鎖を招くことがとても恐ろしい事だと伝えていきます。一番効果ある行動は感染予防対策ですので、こうしたメッセージを何度も発信していく考えです。

地域生活支援等事業について

問 地域生活支援拠点は、障害のある方が、住み慣れた環境で、高齢になっても安心して暮らし続けることができるように、また、親亡き後を見据えて、様々な支援が切れ目なく提供される体制をとるという考え方は、現在、道内でも整備に向けての検討が進んでおり、オホーツク振興局管内では北見、美幌、津別、訓子府、置戸の複数市町村で整備が進んでいると聞きました。今年3月の紋別市議会でもこのことについて協議を進めているとの答弁がありました。雄武町の現状は。

保健福祉課長

地域生活支援拠点の整備は、国の基本方針において令和5年までの整備を目指すものです。本町には町内に障がい児や障がい者の専用住宅などの施設がありませんので、単独での取り組みは難しく、広域での連携を視野に入れていくところです。紋別市からそのようなお話は今のところありません。今年度、新たに町内で民間が運営する地域活動支援センターが開設されることになっています。当面は日中の活動拠点が目的となりませんが、今後、就労支援など、幅広い障がい者の活動に結びつくことが期待されます。

保健福祉課長

町内にもそうした設備等があまりないものですから、単独では難しいと考えておりまして、広域での対応を視野に入れております。

町長

まだ西紋の方でも協議がなされていますので、今後、西紋全体でという話になった段階で、検討していきたいと考えます。

※対策室長…新型コロナウイルス感染症対策室長の略



議 果 審 結

4 月 定 例 会

条例制定（専決処分）

●雄武町税賦課徴収条例等の一部改正

令和3年3月31日に、地方税法等の一部を改正する法律（令和3年法律第7号）、地方税法施行令等の一部を改正する政令（令和3年政令第107号）、地方税法施行令の一部を改正する政令（令和3年政令第108号）、地方税法施行規則等の一部を改正する省令（令和3年総務省令第34号）及び地方税法施行規則の一部を改正する省令（令和3年総務省令第35号）がそれぞれ公布され、原則として同年4月1日から施行されることに伴うもの。

（報告承認）

令和2年度・3年度

補 正 予 算

一般会計（令和2年度・第13号）

※専決処分

65億8290万7千円（6061万4千円追加）

【主な内容】

- ◇総務費 3100万円増
 - ・ふるさと応援基金積立金の増ほか
- ◇労働費 85万8千円増
 - ・冬期就労対策除排雪委託料の増
- ◇土木費 2875万6千円増
 - ・除雪業務委託料の増ほか

一般会計（令和3年度・第1号）

※専決処分

59億2661万円（4161万円追加）

- ◇総務費 368万5千円増
 - ・会計年度任用職員給の増ほか
- ◇衛生費 3725万3千円増
 - ・新型コロナウイルスワクチン接種業務委託料の増ほか
- ◇教育費 67万2千円増
 - ・地域おこし協力隊車両借上料の増ほか

一般会計（令和3年度・第2号）

60億2961万7千円（1億300万7千円追加）

- ◇総務費 792万5千円増
 - ・行政手続き押印見直し業務委託料の増ほか
- ◇民生費 1911万円増
 - ・介護サービス事業特別会計繰出金の増ほか
- ◇衛生費 2749万6千円増
 - ・雄武消防庁舎内部改修工事の増ほか
- ◇農林水産業費 31万6千円増
 - ・修繕料の増ほか
- ◇商工費 4710万円増
 - ・新型コロナウイルス感染症対策「地域元気応援券」事業補助金の増ほか
- ◇教育費 106万円増
 - ・修繕料の増ほか

介護サービス事業特別会計

（令和3年度・第1号）

6917万5千円（1661万円追加）

【主な内容】特別養護老人ホーム・デイサービスセンター冷房設備工事の増

質 疑 応 答

ふるさと応援寄附金について

Q佐藤 ふるさと応援寄附金、春から増えつつある。畠森水産のホタテはふるさと納税サイト「さとふる」で全国28位、3月から急増。紋別市は同サイトで4位だが差が縮まりつつある。計上された400万円の内

容は。雄武町でも独自サイトを開設する時期では。

A財務企画課長 予算計上した400万円は寄附への返礼品購入費。寄附総額1億8700万円の3割を予算額としている。独自サイトについては寄附額の増加を目指して検討を進めていく。



議 果

審 結

6 月 定 例 会

報 告

●雄武町観光開発株式会社令和2年度決算・令和3年度予算

雄武町観光開発(株) 令和2年度決算・令和3年度予算

	令和2年度決算	令和3年度予算
収 入	2億2629万5889円	2億1846万4000円
支 出	2億2717万2504円	2億3208万7620円
差 引	当期純損失 87万6615円	経常利益 -1362万3620円

(報告のとおり)

●令和2年度雄武町一般会計繰越明許費繰越計算書
※金額は翌年度繰越額
議会活性化事業

325万5千円
福祉施設等整備事業

671万円
雄武地域バイオガス導入検討事業

198万円
地域交流センター整備事業

182万円
日の出岬整備事業

190万円
町道排水改修事業

1300万円
町道防護柵改修事業

450万円
小中学校感染症対策事業

(小学校費分)
328万円

小中学校感染症対策事業
(中学校費分)
82万円

町民センター施設整備事業
4910万9千円

体育施設整備事業
120万円

(報告のとおり)



●令和2年度雄武町一般会計事故繰越し繰越計算書
※金額は翌年度繰越額

戸籍総合システム事業
638万円

ワクチン接種記録システム連携に伴うシステム回収委託業務
120万円

(報告のとおり)

●令和2年度雄武町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書
※金額は翌年度繰越額
雄武町公共下水道事業
5400万円

(報告のとおり)

令和2年度雄武町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

※金額は翌年度繰越額
雄武町公共下水道事業
5400万円

(報告のとおり)

条 例 改 正

●デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理
デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理

再発行手数料が地方公共団体情報システム機構からの受託による徴収へ位置付けが変わることから、関係する条例の一部改正が必要となるもの。

●放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の位置目を改正する省令の施行に伴い、条文を整理するため。

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育条例の運営に関する基準を定める条例の一部改正
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の施行に伴い、条文を整理するため。
(以上、原案可決)

●家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い、条文を整理するため。

●特定教育・保育施設及び特定地域型保育条例の運営に関する基準を定める条例の一部改正
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の施行に伴い、条文を整理するため。
(以上、原案可決)



工事請負契約締結

●豊年橋外修繕工事

契約金額 5170万円

契約の相手方

株なかの

代表取締役 長野 誠

●公営住宅潮見団地本体建設

工事（建築主体）

契約金額 9405万円

契約の相手方

株オダ建設

代表取締役 瓶子博克

（以上、原案可決）

財産の取得

●塵芥収集車

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の定めにより議決を求めたもの。

物品名

塵芥収集車 1台

取得の方法

北海道市町村備荒資金組

合からの譲渡

契約金額

1866万7千円に北海道市町村備荒資金組合が設定する年0.1%の利息

を加算した額

契約の相手方

札幌市中央区北4条西

6丁目

北海道市町村備荒資金

組合

組合長 棚野 孝夫

（原案可決）



委員の選任

●農業委員会委員の選任

渡辺 和基 氏

▼任期

令和3年6月21日～

令和5年7月19日

（原案同意）

令和3年度

補正予算

一般会計（第3号）

※専決処分

60億3961万7千円（1000万円追加）

【主な内容】

◇衛生費 1000万円増

・新型コロナウイルス感染症検査費助成の増

一般会計（第4号）

60億8144万4千円（4182万7千円追加）

【主な内容】

◇民生費 643万1千円増

・子育て世帯生活支援特別給付金の増ほか

◇衛生費 1615万4千円増

・簡易水道事業特別会計操出金の増ほか

◇農林水産業費 110万1千円増

・産業団体職員等福利厚生施設整備事業補助金の増ほか

◇商工費 27万3千円増

・地域おこし協力隊活動費助成金の増ほか

◇土木費 255万2千円増

・修繕料の増ほか

◇教育費 1531万6千円増

・空気清浄機購入の増ほか

一般会計（第5号）

60億8240万円（95万6千円追加）

◇議会費 95万6千円増

・DTPシステム等購入の増ほか

簡易水道事業特別会計（第1号）

3億6363万円（892万円追加）

【主な内容】職員給の増ほか

公共下水道事業特別会計（第1号）

4億716万8千円（17万8千円追加）

【主な内容】水洗便所改造等補助金の増ほか

介護保険事業特別会計（第1号）

5億659万2千円（165万円追加）

【主な内容】介護保険システム改修委託料の増ほか



6月定例会についての質疑応答

雄武町観光開発（ホテル日の出岬）について

Q 柳原 町外利用者から料金値上げに対する不満は出ているか。

A 税財管理課長 特に寄せられていない。

Q 柳原 朝食がバイキングから和定食になった。「サンライズ」という卵かけごはんを提供してはどうか。姉妹都市の武雄市・いとう養鶏場のおいしい卵を雄武町のホテルで扱うことで、話題性も高くなり報道やSNS等での無料PRも期待できる。

A 町長 流通や日持ちの関係もあり、ホテルのメニューとの兼ね合いもあることから、支配人と話しながら考えてみる。

まめちしき【サンライズ (Sunrise)】

一般社団法人「日本たまごかけごはん研究所」が提案する、たまごかけごはんの作り方のひとつです。

ごはんを醤油をかけ混ぜ、その上に溶いた卵をかけて食べます。

たまごかけごはんと言えば別な器に卵を割り入れて醤油と混ぜ、それをごはんにかけて食べることが多いと思いますが、その作り方は「シューティングスター (Shooting Star)」と名付けられています。



Q 柳原 ジャグジーが停止していることが多いが、その理由は。

A 税財管理課長 不稼働・稼働についてはポスターにて掲示している。コスト減のためではなく、レジオネラ菌対応のため保健所の指示で3日に1度程度で稼働している。

Q 佐藤 コロナ禍で宿泊が減っているが、ホテル周辺整備やホテル売店の品目充実などリニューアルする機会ではないか。社長としてホテルと協議はしているのか。

A 町長 ホテル周辺の散策路は通路と階段について検討しており、売店についても支配人や社員と準備を進めている。バンガローも寒々としており、芦別市のグランピングなども参考にしながら検討していく。

まめちしき【グランピング】

グラマラス（魅力的な）とキャンピングを掛け合わせた造語で、主にキャンピングの宿泊施設を指します。既に設営してあるテントに泊まるものから、建物の中にテントが設営されているものまで多種多様なバリエーションがあります。利用者はテントの設営や食事の準備といった煩わしい作業をすることなく「良い所取りの自然体験」を楽しむことができます。



公共施設等の空気清浄機の購入について

Q 遠藤 空気清浄機の購入予定があるが、そのメンテナンスはどうするのか。

A 税財管理課長 フィルターは掃除機で吸う。加湿フィルターについては4～5年で取り換えを考えている。

Q 長野 それぞれの課で違うメーカーの購入を検討しているようだが、全体として大量の商品を購入する際、妥当かどうかの審査

は行っているのか。欲しい物が別になるのは理解するが、購入予定のメーカーで使い勝手の悪いものも見受けられる。メンテナンス問題やランニングコスト等、内部精査せずに発注していないか。

A 副町長 各課から取りまとめたものを予算審査会のメンバーで話し合っている。人数や使い方はある程度精査している。教育委員会は別だが、台数を含めて統一できるものはしており、議論も行っている。



予算の執行残について

Q 柳原 新型コロナウイルスに関する地方創生臨時交付金で3億円以上の予算がついたが、感染症対応に使うべき予算を使うべきではない部分に使い、実際は今になって町の予算を感染症対策に使っている。地域元気応援券として8千円を配り、商工会や地域活性化には非常に役立ったが、一方で町の税金を使って今回のような感染症対策をするのでは相殺されたようなもの。そういう認識を町はお持ちか。

A 財務企画課長 新型コロナウイルス感染症対応地域創生臨時交付金については一次、二次分については清算済み。三次分は雄愛園やデイサービスなどのエアコン設置、地域元気応援券（第2弾）、子育て応援事業新生児特別給付金支給事業などに充当するため4月臨時会にて議決済み。関係事業費1億230万7千円の財源として交付限度額の8756万5千円を充当している。現在留

保している臨時交付金はないが今回専決処分した検査費助成や空気清浄機については最終的に臨時交付金を一部あるいは全部充当する考え。最終的な決算で臨時交付金の充当額や充当先を決定したい。

Q 柳原 議会から介護施設や教育現場などに空気清浄機や二酸化炭素濃度計の導入を要望したが、要望していなかった役場庁舎へのエアコンフィルター交換が増えている。どうして今まで検討がなされなかったのか。

A 総務課長 4月に入り新型コロナウイルス感染症の第4波が来たことから、各施設で改めて感染症対策が必要と判断した。

Q 柳原 臨時交付金が交付され、活用事例集に載っていることをしたほうがいいと言った時には全然違う方向にお金を使って、今になってこういうものを買っている。感染症対策になっていないものも多い。しっかり認識して欲しい。（答弁不要）

地域おこし協力隊への活動費助成等について

Q 遠藤 活動助成金は地域おこし協力隊の水道光熱費を支払うとのことだが、積算根拠は。

A 財務企画課長 光熱水費分を交付するもので、4～10月（夏期）を1万円、11～3月（冬期）を2万円で積算している。

Q 佐藤 インターネット通信料はスマートフォンの料金なのか。

A 財務企画課長 入居している住宅へのネット回線敷設料と使用料となる。

小中学校のインターネット回線整備工事について

Q 佐藤 小中学校のインターネット回線工事は回線負荷軽減のためか。

A 教育振興課長 今までの通信環境が快適ではなかったため、学習用の専用単独回線を敷設し、通信環境を安定させるための工事である。

まめちしき【地域おこし協力隊】

都市部から過疎地などに移住して、地域協力活動（地域ブランド・地場製品の開発や販売、農林水産業や住民支援などの仕事など）をしながら、その地域への定住・定着を図る総務省の取組みです。自治体から委嘱を受けた隊員は最長3年の期間内で活動します。

総務省では、地域おこし協力隊員の活動に要する経費として、隊員1人あたり470万円を上限として、自治体に対して財政的な支援を行っています。協力隊の仕事の内容は各自治体でそれぞれ異なり、現在雄武町にいる隊員は4名です。

- ・観光支援員（1名）
観光協会の事務局スタッフ
- ・ふるさと学習支援員（1名）
小規模校の学習支援や学校行事への協力
- ・学校ICT支援員（2名）
学校の情報通信技術（ICT）活用への支援

令和3年3月3日

町内視察レポート

雄武町漁業協同組合役員との懇談会

産業厚生常任委員会町内視察

▼日程 令和3年3月3日(水)

▼視察項目 雄武漁業協同組合役員との懇談会

産業厚生常任委員会では、産業団体における現状や課題を把握し、今後の議会活動に資するため、雄武漁業協同組合役員と「雄武町の漁業振興に係る現状と課題・今後の展望について」を案件に懇談を実施した。

いまだ終息をみない新型コロナウイルス感染症の影響による、鮮魚・製品の市場等からの需要の減少及びそれに伴う経済的打撃、毛がに資源量の大幅な減少等、漁業を取り巻く環境は厳しい状況にある。

【漁獲高などについて】

令和2年における鮮魚の漁業別取扱高について、毛がに籠漁における実数で44・8トン、金額にして1億69913万8千円、計画対比87・6%、前年比90・2%、鮭定置では1681・1トン、金額にして10億4226万8千円、計画対比169・5%、前年比180・6%、ホタテ桁曳では2万1

140トン、金額で17億3532万2千円、計画対比74・1%、前年対比68・1%であった。

水揚げ数量でホタテが全体の約8割を占め、水揚げ高では、稚貝を含むホタテで全体の4割、鮭マスが3割、近年の毛がに資源量の減少による漁獲許容量の減によりバランスが変化している。

【毛がにの資源量減少について】
令和3年における管内の毛がに漁獲許容量は、昨年同様150トン、かたや宗谷管内では300トン増の700トンとなった。特に、雄武・紋別間の網走西部と常呂と湧別の落ち込みが大きく、斜里・ウトロの網走東部は横ばいである。なぜ、このような格差が生じたのか、様々な要因が考えられるが、早急な原因究明が求められる。

打開策として、管内毛がに漁業対策協議会として、毛が

にに特化した人工種苗生産体制の構築を目指した試験研究の取り組みについて、北海道に要望することとしており、将来的な資源量の確保に向けた町の支援も必要である。

【人材確保について】

また、人的資源においては、準組合員を含む組合員数が126名であり、組合員数の適正化も考慮し最低限100名の人員は確保する必要がある。現在、ホタテ桁曳に従事する乗組員は1隻5名体制で10隻が操業している。補助員を含め54名の人員は確保しているが、業務の内容から、短期間での人員の入れ替わりも多い。また、地元での確保が困難で、町外からの従事者確保という現状もあり、住宅確保が喫緊の課題となっている。

組合としても、乗組員用の居住施設の整備に令和2年から3年の間に、町の支援を視野に入れ取り組みたいとのことである。乗組員の確保についても、ハローワークやジョブキタで漁協単独での募集対策を施しているが、今後、町や観光協会と連携し、動画PRなどの視覚等に訴える効果

的な募集の展開が考えられる。

【視察所感】

雄武の漁業の代名詞である毛がにの資源量が減少していることへの危機感是非常に大きい。減少の原因の解明について早急な対応が望まれるとともに、管内毛がに漁業対策協議会の取り組みについても積極的な支援が必要である。

また、組合員の高齢化・後継者不足が懸念される中、乗組員の確保も含めた早急な担い手対策の構築が必要であると感じた。

▼産業厚生常任委員会

委員長 福原
副委員長 遠藤
委員 長野、嶋村、金田、柳原

《所管事項》 住民生活課、保健福祉課、地域包括支援センター、児童センター、保育所、産業振興課、建設課、上下水道課、特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターに関する事項、農業委員会に関する事項。



議 会 日 誌

3月

10~19日	第1回定例会開催
24日	第5回議会活性化調査特別委員会開催
//	第4回広報特別委員会開催
26日	西紋別地区総合開発期成会定期総会(紋別市)出席、議長

4月

5日	議会運営委員会開催
7日	第6回議会活性化調査特別委員会開催
//	第5回広報特別委員会開催
8日	雄武高等学校入学式出席、議長ほか5名
12日	第2回臨時会開催
16日	雄武町林野火災予消防対策協議会出席、議長
21日	第6回広報特別委員会開催
22日	第7回議会活性化調査特別委員会開催
//	第7回広報特別委員会開催
//	(株) farm-to-mo竣工式(興部町)出席、議長
23日	第8回広報特別委員会開催
28日	雄武町交通安全推進委員会総会出席、議長
//	宗谷本線活性化推進協議会定期総会(士別市)出席、議長

5月

10日	オホーツク町村議会議長会定期総会(遠軽町)出席、議長
13日	第8回議会活性化調査特別委員会開催
19日	全員協議会開催
27日	第9回議会活性化調査特別委員会開催
28日	第9回広報特別委員会開催
//	雄武町社会福祉協議会定時評議員会出席、議長
31日	第10回広報特別委員会開催

6月

7日	全員協議会開催
//	議員協議会開催
9日	全員協議会開催
10日	第10回議会活性化調査特別委員会開催
11日	議会運営委員会開催



議会を傍聴してみませんか？

- ◎定例会 3・6・9・12月 年4回
 - ◎臨時会 適時開催
 - ◎日程確認 新聞折込チラシ
議会事務局ホームページ
事務局に連絡
- 【雄武町議会事務局】
代表Tel: 0158(84)-2121

編集あとがき

東京オリンピックが始まり、パラリンピックも8月末から始まる予定です。この時期に至っても「予定」としか書けない事は異常事態です。札幌市で行われる予定のサッカー、マラソン、競歩。テレビの前で応援するしかありません。

この度、委員会視察で美深町を訪問、広報紙に対する特徴的な取り組みや基本内容などで勉強させていただきました。「町民に分かりやすく読んでいただけることが基本」「町民を巻き込んで作るような広報を目指し、モニター制度の活用、アンケートを取ったりして分かりやすさを心がけている」編集方針は分かりやすさとの談。

雄武町議会広報も町民の方々に親しんでいただけるような分かりやすい広報紙を目指していきたいと思っております。若い方の声を取り入れるなど、住民参加型企画も考えていきたいと思っております。

議会広報特別委員会

委員長 溝田 昌志